

## 一般財団法人 ヤオコー子ども支援財団 設立趣旨書

現在、日本でも、子どもの貧困が問題視されるようになりました。統計では実に日本の子どもの7人に1人が貧困、またひとり親家庭の約半数が貧困であると言われています。子どもの貧困は、当事者である子どもたちだけの問題ではなく、将来の日本社会を支える人材育成という点において、社会全体にとっての大きな問題です。さらに、この問題は連鎖しやすいものであり、その負の連鎖を断ち切るには、地域社会全体で、子どもの成長を支える取り組みが必要だと考えます。

(株)ヤオコーは、「生活者の日常の消費生活をより豊かにすることによって地域文化の向上・発展に寄与する」を経営理念に掲げ、「豊かで楽しい食生活提案型スーパーマーケット」づくりを通して、地域にお住まいの方々の毎日の食生活に貢献し、健康で幸せな生活のお役に立つため事業活動を行っております。

2020年からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本経済は大きな打撃を受け、雇用不安や失業で、経済的に困窮する生活困難者がさらに増えております。子どもを取り巻く環境が悪化し、食生活や成長が脅かされている状況に対し、埼玉県の商品スーパーマーケットとして、「食」を通して子どもたちを支援したいとの想いを強く抱きました。

そして2020年9月より、埼玉県社会福祉協議会、埼玉県福祉部のご協力の下、埼玉県下の生活に困難を抱えた世帯で子どもがいる家庭や、子ども食堂などの子供の居場所等、特に子どもに対する支援として、食生活の基盤である「米」の寄付を開始しました。新型コロナウイルス感染症の経済に対する影響はしばらく続くと考えており、この子ども支援の取組みを継続するため、今般、「一般財団法人 ヤオコー子ども支援財団」の設立を決意いたしました。

日本や地域社会の将来を担ってくれるのは子どもたちです。そのかけがえのない大切な子どもたちが、明るく健やかに成長してくれることは、親だけでなく等しく皆の願いです。皆様のご理解と幅広いご支援をお願いいたします。

2021年3月

一般財団法人 ヤオコー子ども支援財団  
設立代表者 川野 澄人